

**製品名: FGFR1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80752**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	92kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FGFR1
別名	CEK; FLG; OGD; FLT2; KAL2; BFGFR; CD331; FGFBR; HBGFR
遺伝子 ID	2260.0
SwissProt ID	P11362
免疫原	HEK293 細胞で発現した hIgGfc タグと融合したヒト FGFR1 (aa22-376) の精製された組み換え細胞外フラグメント。

**背景**

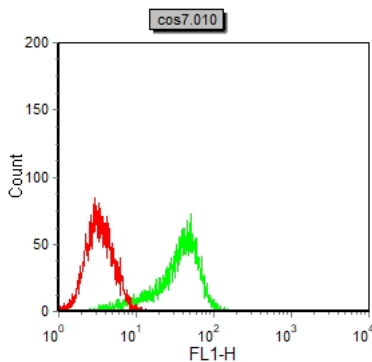
線維芽細胞増殖因子受容体 1 (FGFR1) は、塩基性線維芽細胞増殖因子受容体 1、fms 関連チロシンキナーゼ 2/ファイファー症候

群、CD331とも呼ばれ、線維芽細胞増殖因子ファミリーの特定のメンバーをリガンドとする受容体型チロシンキナーゼです。FGFR1はファイバー症候群との関連が示唆されています。FGFR1は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーであり、アミノ酸配列はメンバー間および進化を通じて高度に保存されています。FGFRファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。全長の代表的なタンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、単一の疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。タンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流シグナルのカスケードを開始し、最終的に有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。この特定のファミリーメンバーは、酸性および塩基性線維芽細胞成長因子の両方に結合し、四肢誘導に関与しています。

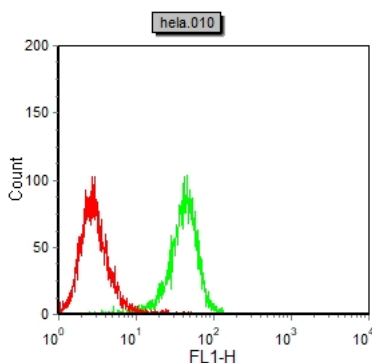
## 研究分野

TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

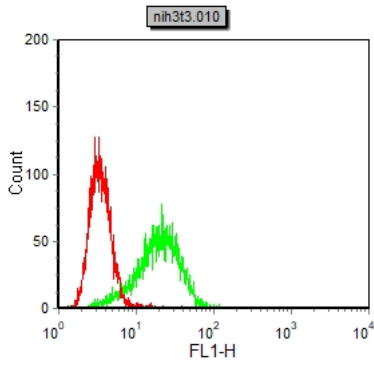
## 画像データ



FGFR1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。



FGFR1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



FGFR1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。